

## 主題：命の木

メッセージ 17

復活の命の中で生き、命の交わりの中で生き、  
命の中で王として支配して永遠の命に至る

聖書：Ⅱコリント 1:8-9. ローマ 8:28-29. ピリピ 3:10-11.

Ⅱコリント 4:16. Iヨハネ 1:3. ローマ 5:17, 21

### I. わたしたちは復活の命の中で生きるために、キリストの復活に関する明らかにされた真理を見なければなりません：

- A. キリストは彼の人性において、彼の復活の中で神によって生まれ、神の長子となりました——使徒 13:33. ローマ 8:29 後半。
- B. キリストのすべての信者は、キリストの復活を通して、彼のからだ、彼の複製としての召会を生み出すために、父なる神によって再生されました——Iペテロ 1:3. ヨハネ 12:24. Iコリント 10:17。
- C. キリストは最後のアダムとして、命を与える霊と成りました——15:45 後半。
- D. 主の復活のこれらの主要な項目（神の長子、神の多くの子たち、命を与える霊）がないなら、召会も、キリストのからだも、神のエコノミーもありません——参照、コロサイ 1:18. Iコリント 12:12. エペソ 4:4。

### II. わたしたちはキリストのからだの実際の中にいるために、命における神の建造のための、キリストの復活の命の中に絶対的にいる必要があります：

- A. 召会は完全にキリストの要素のものであり、完全に復活の中にあり、完全に天的です——Iペテロ 1:3. エペソ 2:6. 参照、創 2:21-24。
- B. わたしたちは自分の天然の命によって生きないで、わたしたちの内側の神聖な命によって生きるとき、復活の中にいます。この結果はキリストのからだです——ピリピ 3:10-11：
  - 1. わたしたちはみな主によって訓練されて神聖で奥義的な人となり、自分の天然の命を否むことによって神聖な命を生きる必要があります——参照、ヨハネ 3:8。
  - 2. たとえ聖書的であっても天然の命の中で遂行されることは何であれ、キリストのからだの実際ではありません——Iコリント 3:12。

### III. わたしたちは復活の中で生きるために、命における神の建造のための復活の神を知り、経験し、獲得しなければなりません——Ⅱコリント 1:8-9：

- A. 神は十字架を通して働いて、わたしたちを終結させ、終わりにもたらしつつあります。それは、わたしたちがもはや自分自身に信頼しないで、復活の神に信頼するためです——9節。
- B. 生ける神が人のために多くの活動をすることができる間、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くとき、彼の命と性質は人の中へと造り込まれます——4:16：
  - 1. 神は働いて彼の力が外側の行動で知らされるようにしているのではなく、働いて

ご自身を人の中へと分け与え、造り込みつつあります——ガラテヤ 4:19。

2. 神は環境を用いて、彼の命と性質をわたしたちの中へと造り込んでいます——II コリント 4:7-12. I テサロニケ 3:3。
3. わたしたちは復活の中で生き、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して神の長子としてのキリストのかたちと同形化されなければなりません——ローマ 8:28-29. ヘブル 12:10. エレミヤ 48:11。
4. 宇宙における苦難の主要な目的は、特に神の子供たちに関してであり、それを通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれて、人が満ち満ちた程度にまで神を獲得することです——II コリント 4:16。
5. わたしたちが苦難を経過するとき、継続的な更新が日ごとにわたしたちの中で起こる必要があります。それは、神が彼の心の願いを成し遂げて、わたしたちを新エルサレムとすることができるためです——エゼキエル 36:26. II コリント 5:17. 啓 21:2。

C. わたしたちは復活の中で生きるために、復活の命の新鮮な供給をもって養われることによって、日ごとに更新されなければなりません——II コリント 4:16 :

1. 真のクリスチャン生活は、朝も夜も日ごとに復活の神がわたしたちの中へと加えられることです——コロサイ 2:19. ローマ 8:10, 6, 11。
2. わたしたちは復活における神聖な命の更新する能力を受けるために、神と接触し、自分自身を彼に開き、彼にわたしたちの中へと入って来ていただいて、日ごとにわたしたちの中で新しい追加となっていていただく必要があります——ピリピ 2:13. 3:10-11 :
  - a. わたしたちが更新されるのは、十字架、聖霊、わたしたちのミングリングされた霊、神の言葉によります——II コリント 4:10. テトス 3:5. エペソ 4:23. 5:26。
  - b. わたしたちは毎朝、復興される必要があります——マタイ 13:43. 箴 4:18。
  - c. わたしたちは他の人を赦し、また赦されるのを求めることによって、新しさの原則の中で主の食卓に来るべきです——マタイ 26:29. 5:23-24. 18:21-22, 35。
3. 十字架の殺しは、復活の命の現れという結果になります。この日ごとの殺しは、復活の中で神聖な命を解き放つためです——II コリント 4:10-12。

**IV. 命の交わりは、キリストのからだの中の生活の実際であり、命における建造のためです :**

- A. 交わりはすべての信者の内側の永遠の命の流れであり、信者たちは永遠の命を受け、所有しています——I ヨハネ 1:3. 参照、啓 22:1。
- B. わたしたちは神聖な霊、聖霊によって、神聖な交わりの垂直の面の中へと入る必要があります——II コリント 13:14. II テモテ 4:22 :
  1. 交わりの垂直の面は、わたしたちと三一の神との交わりを指しています——I ヨハネ 1:3, 6。
  2. この交わりの中で、わたしたちは御父と御子であるすべて、また彼らがわたしたちのために行なったすべてにあずかります。すなわち、わたしたちはその霊の交わりという美德によって、御父の愛、御子の恵みを享受します——II コリント 13:14。

- C. わたしたちは人の霊によって、神聖な交わりの水平の面の中へと入る必要があります——ピリピ 2:1. 啓 1:10 :
1. 交わりの水平の面は、わたしたちが互いに交わることを指しています—— I ヨハネ 1:2-3, 7.
  2. わたしたちが真に互いに水平の交わりを持つようとするなら、わたしたちの霊を活用する必要があります。真の交わりは、わたしたちの霊によります——参照、エペソ 4:29-30. II コリント 6:6.
- D. 神聖な交わりは織り込まれた交わりです。すなわち、水平の交わりが垂直の交わりと織り込まれています :
1. 使徒たちの最初の経験は、御父とのまた御子イエス・キリストとの垂直の交わりでした。しかし、使徒たちは永遠の命を他の人たちに伝えた時、神聖な交わりの水平の面を経験しました—— I ヨハネ 1:2-3. 参照、使徒 2:42.
  2. わたしたちと聖徒たちとの水平の交わりは、わたしたちを主との垂直の交わりの中へともたらしめます。それからわたしたちと主との垂直の交わりはわたしたちを聖徒たちとの水平の交わりの中へともたらしめます。
  3. わたしたちは霊的に健康であるために、神聖な交わりの垂直の面と水平の面の両方を維持しなければなりません——参照、 I ヨハネ 1:7, 9.
  4. もしわたしたちが主と正しい交わりを持っていないなら、わたしたちの信者仲間と交わるのは難しいのです。同様に、わたしたちが信者仲間と正しい交わりを持っていないなら、主と交わるのは難しいのです。
- E. 交わりは、共通の目的のために個人の権益をわきに置いて、他の人たちに加わることを示します。このゆえに、神聖な交わりの中にいることは、わたしたちの個人の権益をわきに置いて、使徒たちと三一の神に加わり、神の定められた御旨を遂行することです—— 3 節。
- F. 神聖な交わりは、クリスチャン生活のすべてです :
1. 交わりがなくなると、神もいなくなります。神は交わりとして来ます——参照、啓 22:1.
  2. この神聖な交わりの中で、神はわたしたちと織り込まれます。この織り込むことが神と人とのミングリングです——参照、レビ 2:4-5. I コリント 10:17.
  3. 神聖な交わりはわたしたちを鑄型の中に入れ、さらにはわたしたちを再構成し、神聖な構成要素をわたしたちの霊的な存在の中へともたらし、わたしたちを命において成長させ、造り変えます。
  4. 神聖な交わりはわたしたちをブレンディングし、調整し、調節し、調和し、共にミングリングして、一つからだとならせます—— 12:24-25.
- V. 信者たちは恵みをもってすべての物を命の中で王として支配して、永遠の命へと至ります——ローマ 5:17, 21 :**
- A. 神の全体的な救いは、わたしたちがあふれるばかりの恵み（わたしたちが神の有機的な救いを経験するため）とあふれるばかりの義の賜物（わたしたちが神の法理的な贖いを経験するため）によって、命の中で王として支配することです。命の中で王として支配することは、神の有機的な救いの満ち満ちた経験です。

- B. わたしたちは神聖で、靈的で、天的で、王的な、王族の命をもって再生されました——マルコ 4:26. I ヨハネ 3:9。
- C. 命の中で王として支配することは、ローマ人への手紙第 6 章から第 16 章におけるすべてのかぎです。わたしたちが命の中で王として支配するなら、これらの章において提示されているすべての事柄の中にいます：
1. キリストは、御父の神聖な命の支配の下にいることによって命の中で王として支配することの模範です——マタイ 8:9。
  2. パウロは彼の命と務めにおける模範であり、神聖な命の支配の下にいました——II コリント 2:12-14。
  3. あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜を受けたすべての信者には、神聖な命の制限を実行する必要があります——ゼキエル 1:22, 26. 47:1-5. II コリント 2:10。
  4. ローマ人への手紙第 12 章と第 13 章におけるからだの命の生活の各項目は、わたしたちが神聖な命によって支配されることを要求します——12:1-5。
  5. わたしたちは命の中で王として支配することによってからだの生活のために最高の美德の生活をする必要があります——9-12, 15, 18 節。
- E. 命の中で王として支配することは、「永遠の命に至る」ことです——5:21：
1. 「に至る」は、目的地について語っており、「なる」、「である」を意味します。新エルサレムは神聖な命の総合計、神の命の総合計です——参照、ヨハネ 4:14 後半. 啓 22:1-2。
  2. わたしたちが命の中で王として支配することの結果と目標は、新エルサレムであり、神性と人性の結合とミングリングの宇宙的な合併です。